

平成29年4月

## 「安全・安心ふくい」万全プランの推進結果

県、県公安委員会および県警察では、平成27年4月、治安上の課題を克服して治安水準を一層引き上げ、安全で安心な暮らしを願う県民の皆様の期待に応えるため、「安全・安心ふくい」万全プランを策定しました。

平成29年3月末までの2年間において、

- 刑法犯認知件数の更なる減少を目指す
- 刑法犯の検挙率向上、重要犯罪の検挙率100パーセントを目指す
- 交通事故死者数35人以下を目指す

などの基本目標を達成するため、県警察は犯罪の予防・検挙および交通の指導・取締りを重点とし、県は犯罪の被害防止や交通事故防止のための広報・啓発に取り組みました。また、県公安委員会は、県警察の取組について適宜報告を受け、活動の方針を示してきました。

この結果、平成28年の刑法犯認知件数は3,645件で、2年続けて減少し、戦後最少を更新したほか、重要犯罪の検挙率は、平成27年が100パーセント、平成28年が104.8パーセントとなり、それぞれ基本目標を達成することができました。

また、刑法犯検挙率は、平成27年が50.3パーセントで、平成26年の55.5パーセントから5.2ポイント下降したものの、平成28年は52.3パーセントと前年より2.0ポイント上昇しました。

一方、交通事故死者数は、平成27年が47人、平成28年が51人であり、基本目標の達成には至りませんでした。

今後は、これまでの取組結果や治安情勢の変化、県民の皆様の意見・要望を踏まえ、**「安全・安心ふくい」** 確実プランに基づく治安対策を強力に推進していく方針です。

## 福井県の治安情勢

### 【刑法犯認知・検挙状況】

|     |         | 平成24年     | 平成25年     | 平成26年     | 平成27年     | 平成28年   |
|-----|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 福井県 | 認知件数(件) | 5,432     | 5,285     | 4,871     | 3,880     | 3,645   |
|     | 検挙件数(件) | 2,445     | 2,050     | 2,705     | 1,953     | 1,905   |
|     | 検挙率(%)  | 45.0      | 38.8      | 55.5      | 50.3      | 52.3    |
| 全国  | 認知件数(件) | 1,403,167 | 1,314,140 | 1,212,163 | 1,098,969 | 996,120 |
|     | 検挙件数(件) | 437,610   | 394,121   | 370,568   | 357,484   | 337,066 |
|     | 検挙率(%)  | 31.2      | 30.0      | 30.6      | 32.5      | 33.8    |

※ 検挙率: 当該年の認知件数に対する検挙件数(当該年以前の認知事件の検挙を含む。)の割合

### 【重要犯罪の認知、検挙状況】

|         | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 認知件数(件) | 70    | 51    | 53    | 56    | 42    |
| 検挙件数(件) | 61    | 43    | 37    | 56    | 44    |
| 検挙率(%)  | 87.1  | 84.3  | 69.8  | 100.0 | 104.8 |

### 【子どもに対する声かけ事案等、女性対象犯罪の認知状況】

|           | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 声かけ事案等(件) | 239   | 253   | 252   | 242   | 242   |
| 女性対象犯罪(件) | 134   | 132   | 156   | 150   | 154   |

※ 女性対象犯罪: 女性が被害者となった強姦、強制わいせつ、略取・誘拐、暴行、傷害

### 【ストーカー、DV事案の認知状況】

|            | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ストーカー事案(件) | 101   | 117   | 126   | 91    | 122   |
| DV事案(件)    | 162   | 171   | 194   | 188   | 195   |

### 【特殊詐欺（振り込め詐欺・振り込め詐欺以外）の認知状況】

|          | 平成24年  | 平成25年  | 平成26年  | 平成27年  | 平成28年  |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 認知件数(件)  | 31     | 29     | 51     | 58     | 53     |
| 被害総額(万円) | 13,285 | 17,355 | 28,540 | 25,284 | 25,775 |

### 【交通死亡事故の発生状況】

|          | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全死者数(人)  | 37    | 57    | 49    | 47    | 51    |
| 高齢死者数(人) | 15    | 33    | 28    | 26    | 37    |

## 取組項目

### 第1 子ども、女性、高齢者を犯罪から守る

#### 1 子どもを犯罪から守る対策の推進

##### [ 警 察 ]

##### 1 声かけ、つきまとい等の前兆事案に対する先制・予防的警察活動の強化

平成28年の先制・予防的活動の推進結果は、検挙11件、指導・警告43件でした。

##### 【子どもへの声かけ事案と先制・予防的活動】 (単位：件)

|                  | H26 | H27 | H28 |
|------------------|-----|-----|-----|
| 認知(声かけ、つきまとい事案等) | 252 | 242 | 242 |
| 検挙               | 14  | 23  | 11  |
| 指導・警告            | 50  | 57  | 43  |



通学路の警戒活動

##### 2 通学路の警戒活動や不審者情報の発信、学校等における不審者対応訓練による子どもの安全対策の推進

平成27年度から、新たに、春と秋に「子供安全対策推進旬(期間)」を設けて防犯ボランティアとの合同パトロールを実施したほか、リュウピーネットを活用したタイムリーな情報発信や学校における不審者対応訓練を実施するなど、子どもの安全確保に取り組みました。

|                            | H26 | H27 | H28 |
|----------------------------|-----|-----|-----|
| リュウピーネットによる<br>子供を犯罪から守る情報 | 92  | 87  | 93  |
| 不審者対応訓練                    | 207 | 163 | 218 |



防犯ボランティアへの  
情報提供

##### 3 児童虐待事案の早期発見・保護活動の推進

県警察では、被虐待児童の早期発見と安全確保のため、児童虐待事案への対処能力向上を目的とした、児童相談所との合同対応訓練の実施や積極的な情報共有など、連携の強化に取り組みました。



児童虐待事案  
合同対応訓練

##### 4 少年がインターネット利用に起因する犯罪等の被害に遭わないための取組の推進

県内の小学5、6年生および中高生に対する被害防止チラシの配付や非行防止教室(ひまわり教室)による、適正なインターネット利用とフィルタリングソフト導入の促進に取り組みました。



被害防止チラシ

##### 5 児童ポルノ事犯等の福祉犯の取締り

ファイル共有ソフトや無料通信アプリケーションソフト、コミュニティサイトを悪用した児童買春・児童ポルノ事犯の取締りを強化しました。

##### 【主な検挙事例】

- サイバー補導を端緒とした児童買春・ポルノ禁止法違反事件  
(H28.1 福井、少年課 合同捜査)
- 18歳未満の少女をホステスとして雇用した風営適正化法違反事件  
(H28.5 福井、少年女性安全課 合同捜査)

[ 県 ]

1 声かけ事案発生場所における集中的な見守り活動の実施

声かけ事案発生後、発生場所周辺を継続して重点的に見守り活動を行う「重点見守り協力員」を指定し、見守り活動を強化しました。

【平成28年の取組】

- ・「重点見守り協力員」の指定 191小学校区

2 防犯知識等の更なる習得を目的とした見守り活動者対象の研修会の開催など、見守り活動の質の向上

県内5ブロックで、見守り隊(地域住民、PTA、学校関係者等)や地区別防犯活動参加事業所を対象に、地域の犯罪情勢や防犯上の危険箇所の見分け方等の講演および参加者同士が意見交換を行う研修会を開催し、見守り活動者のスキルアップを図りました。

【平成28年の取組】

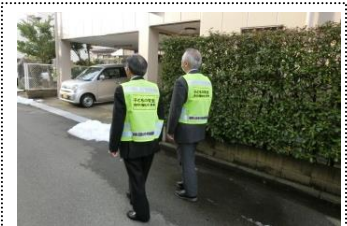
- ・子ども見守りスキルアップ研修会の開催 5回、247人参加

3 イベント会場での家族を対象とした体験・参加型安全安心講習会の開催など、家庭の防犯力の向上

イベント会場にて、親子や家族向けにミニ護身術講座等の防犯意識向上につながる体験・参加型の講習会を開催しました。

【平成28年の取組】

- ・安全安心講習会の実施 県内5会場 7日間



重点見守り協力員による巡回活動



子ども見守りスキルアップ研修会



安全安心講習会

## 2 女性を犯罪から守る対策の推進

[ 警察 ]

1 ストーカー、DV事案等の加害者の積極的かつ迅速な検挙等と被害者の安全確保・保護対策の推進

平成28年のストーカー事案の検挙は24件(前年比+5)で、DV事案の検挙は63件(前年比+8)でした。

【主な検挙事例】

- ・元交際女性に対し執拗にわいせつ画像を送り付けたストーカー規制法違反事件 (H28.7 越前)
- ・妻に対し暴力を振るった上、包丁を振りかざして脅した傷害・脅迫事件 (H28.4 敦賀)

2 レディースガードリーダー(女性相談員)の育成など、女性の自主防犯力の向上に向けた取組の強化

県警察では、女性が多い企業等において、防犯知識を有し、相談対応や警察への情報提供を行う女性社員「レディースガードリーダー」の育成に取り組んでいます。平成28年は、商工会議所と連携した参加企業の拡大や「女性のための防犯講座」の開催に取り組みました。

- ・レディースガードリーダーの育成 392企業、905人(H28.12 末)



女性のための防犯講座  
(防犯・護身術講習)

### 3 レディースパートナー(女性警察職員)の拡充など、女性相談者の立場に立った適切な対応の推進

県警察では、女性特有の犯罪被害の相談に対応するため、女性警察職員53人を「レディースパートナー」に指定するとともに、警察本部においては、女性警察官による24時間体制の相談対応を行っています。

また、相談者の悩み解決につなげるため、県内大学において、レディースパートナーが心理カウンセリングの授業を聴講したほか、相談窓口を記したパンフレットを配布するなど、女性が相談しやすい環境づくりに取り組みました。

### 4 強制わいせつやリベンジポルノ事犯など、女性を対象とした卑劣な犯罪の取締り

女性警察官が相談受理から解決まで一貫して行う女性選抜捜査班(捜査第一課)等による、被害者の心情に配慮した取締りを推進しました。

【女性対象犯罪(※)の認知・検挙状況】 (単位: 件)

|      | H26 | H27 | H28 |
|------|-----|-----|-----|
| 認知件数 | 156 | 150 | 154 |
| 検挙件数 | 135 | 150 | 152 |

※ 女性が被害者となった強姦、強制わいせつ、略取・誘拐、暴行、傷害

## [ 県 ]

### 1 声かけ事案発生場所における地域防犯団体による安全点検の実施など、女性が被害に遭わないための環境の整備

声かけ事案や女性対象犯罪の発生場所等の危険箇所における安全点検を実施し、地域における防犯上の問題把握につなげました。

### 2 女性が安心して相談できる体制の整備や被害者の安全確保・自立支援の充実など、「配偶者からの暴力を許さない社会づくり」の推進

DV被害者の発見と通報に関する県民の理解促進を目的にDVリーフレットを作成し、自治会、ショッピングセンター、幼稚園、保育園、病院等へ配布しました。また、DVについての正しい知識の早期取得を図るため、デートDVパンフレットを県内の高校2年生に配布しました。

さらに、「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、警察と合同で街頭キャンペーンやパネル展示を行いました。

- ・ 県の相談機関におけるDV相談受付件数 (平成28年度)

1, 186件



レディースパートナー研修会



相談窓口紹介  
パンフレット



地域防犯団体による  
巡回活動



「女性に対する暴力をなくす  
運動」街頭キャンペーン

### 3 高齢者を犯罪から守る対策の推進

#### [ 警 察 ]

#### 1 特殊詐欺被害を防止するためのタイムリーな地域安全情報の提供と広報啓発活動の強化

県警察のホームページやリュウピーネット、テレビ(県政広報)、ラジオ、新聞紙面等、あらゆる媒体を利用した広報を行うとともに、金融機関ATMへの警察官の等身大立看板の設置や各地域のイベントにおける注意喚起チラシの配布等、県民に対して最新手口に関する情報の提供と注意を呼び掛けました。



警察官の等身大立看板

#### 2 巡回連絡や出前講座等による特殊詐欺の被害に遭わないための県民への注意喚起と被害防止対策資機材の普及

高齢者の被害を防止するため、巡回連絡や寸劇・紙芝居を用いた分かりやすい出前講座による直接指導に取り組んだほか、タイムリーな最新手口の情報提供や注意喚起を行いました。

また、電話の発信者に通話内容を録音する旨を通知することで犯人への警告の効果が期待できる警告機能付き電話録音器の普及促進に取り組みました。



寸劇を用いた出前講座

#### 3 金融機関や宅配事業者等との連携による特殊詐欺被害の阻止対策の推進

「福井県振り込め詐欺撲滅ネットワーク」と連携し、金融機関やコンビニエンスストア、宅配事業者の窓口における声かけや年金支給日における広報啓発活動など、被害の未然防止対策を継続して行いました。

さらに、金融機関職員やコンビニエンスストア店員等を「声かけマイスター」に指定し、これらの方が自信を持って声かけができるよう、警察による声かけ訓練を実施するなど、水際対策を強化しました。



福井県振り込め詐欺撲滅ネットワーク会議

#### 4 「だまされた振り作戦」や他の都道府県警察との連携による犯行グループ壊滅に向けた取締り

県民の協力を得ての「だまされた振り作戦」や他の都道府県警察との合同捜査を推進し、犯行グループの取締りを強化しました。

##### 【主な検挙事例】

- ・ 震災ボランティア活動支援金譲渡名目の特殊詐欺事件  
(H27.3～5 福井県警察、警視庁等 13 都道府県警察 合同捜査)
- ・ 親族をかたったオレオレ詐欺事件  
(H27.12～H28.10 福井、鯖江、越前、捜査第二課 合同捜査)
- ・ 株購入に伴う名義貸しトラブル解決料名目の特殊詐欺事件  
(H28.4～ 勝山、福井南、捜査第二課 合同捜査)



特殊詐欺事件の押収品

#### 5 携帯電話や預貯金口座の不正取得など、特殊詐欺を助長する犯罪の取締りと犯行ツールの無力化対策の推進

預貯金口座等の不正取得に対する取締りを推進したほか、犯行に使用された預貯金口座の凍結や携帯電話の利用停止に向けた取組を徹底しました。

## 6 関係機関・団体や地域住民等と連携した行方不明者や高齢者虐待事案の早期発見・保護活動の推進

市町に設置されている「高齢者等徘徊SOSネットワーク」と情報を共有し、認知症等を原因とする行方不明者や高齢者虐待事案の早期発見・保護活動に取り組みました。

また、平成28年は、約1,200人の警察職員が「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症サポーターの知識を保護活動等に反映しました。



「認知症サポーター養成講座」の受講

## [ 県 ]

### 1 県、県警察がケアマネジャーを対象とした特殊詐欺の手口に関する研修会を開催。その情報を福祉施設で高齢者とその家族が共有するなど、特殊詐欺撲滅に向けた県民運動の展開

高齢者と接する機会の多いケアマネジャーを対象とした特殊詐欺や悪質商法の手口を踏まえた被害防止に関する研修を行い、見守り者の意識向上を図りました。また、ケアマネジャーを通じ、特殊詐欺の手口をまとめたリーフレットを高齢者やその家族に配布し、注意喚起を呼び掛けました。



ケアマネジャーを対象とした研修会

### 2 高齢者被害防止キャンペーンの実施など、被害未然防止対策の強化

高齢者を狙った振り込め詐欺や悪質商法に対する注意喚起と被害の未然防止を図るため、県内2か所で、「高齢者の消費者被害未然防止キャンペーン街頭啓発」を実施しました。

また、大学生等が高齢者の集まりやすいイベント会場5か所で、高齢者自身や知人の消費者トラブル防止に向けた啓発を行いました。



高齢者被害防止  
キャンペーン

### 3 市町の高齢者徘徊SOSネットワーク情報の活用により、徘徊による行方不明者を早期発見するなど、高齢者が安心して生活できる地域づくりの推進

県内全市町で、「高齢者徘徊SOSネットワーク」が整備され、運用を開始しました。

また、市町が事前に登録を受け付けた徘徊のおそれのある認知症高齢者等の情報を県警察と共有し、徘徊中に保護した高齢者について家族への引渡しの早期化を図りました。

- ・ 高齢者徘徊SOSネットワーク整備 全17市町

## 第2 犯罪の起きにくい社会をつくる

### 1 県民と協働した地域の防犯力向上

#### [ 警 察 ]

#### 1 「ワンアクション！県民防犯運動」や企業等による自主防犯活動への取組促進など、県民総ぐるみの防犯対策の推進

「ワンアクション！県民防犯運動（※）」を推進し、941店舗の応援店と協力して県民に対する自主防犯活動と呼び掛けました。

（※）県民一人一人が簡単にできる防犯活動の一つ宣言して実践する運動



ワンアクションカード

#### 2 「福井県犯罪に強い住環境整備促進ネットワーク」や「福井県自転車盗難防止ネットワーク」など、犯罪の態様に応じたネットワークと連携した抑止対策の推進

「福井県犯罪に強い住環境整備促進ネットワーク」の参加団体に対する講習会を開催したほか、防犯設備士の実地指導を受けた警察官による地域住民への注意喚起を行うなど、住宅侵入犯罪の被害防止に取り組みました。

このほか、自転車盗の被害を防止するため、「福井県自転車盗難防止ネットワーク」と連携し、広報啓発活動に取り組みました。



福井県自転車盗難防止ネットワーク会議

#### 3 防犯隊やふくいマイタウン・パトロール隊等による自主防犯活動に対する支援

警察官と防犯ボランティアによる合同パトロールや研修会の実施、犯罪情報の提供等、自主防犯活動に対する支援を行いました。

- ・ 防犯隊（県下全市町で設置） 17団体、 3, 520人
- ・ ふくいマイタウン・パトロール隊 171団体、 11, 624人
- ・ 青色回転灯によるパトロール団体 144団体、 558台



防犯隊との合同パトロール出発式

#### 4 商店街等における街頭防犯カメラの設置促進

事業所や商店街等に対しカメラの設置箇所や映像管理等について助言・指導を行いました。

また、県警察では、平成28年8月、犯罪の未然防止を目的に福井運動公園及びその周辺に街頭防犯カメラ20台を設置し、運用を開始しました。



街頭防犯カメラ

#### 5 リュウピーネット等による、防犯に役立つ情報や県内に波及するおそれのある犯罪情報等の地域安全情報の提供

リュウピーネットや県警察ホームページに掲載の「安全・安心マップ」を活用し、声かけ事案や犯罪の発生状況等、地域安全情報のタイムリーな発信に努めました。

|                 | H26   | H27    | H28   |
|-----------------|-------|--------|-------|
| リュウピーネット発信回数    | 180   | 164    | 281   |
| 安全・安心マップのアクセス件数 | 8,040 | 11,560 | 9,120 |



リュウピーネット

## 6 警察音楽隊やシンボルマスコット等を活用した防犯広報の推進

年間を通じて、各種イベント会場に警察音楽隊やシンボルマスコット「リュウピー君」「リュウミーちゃん」を派遣して防犯広報を行いました。

また、派遣演奏では、男性隊員5人で結成したダンスチーム「ポリリズム」が演奏を盛り上げたほか、広報劇団「もったいない座」による特殊詐欺被害防止広報を行うなど、効果的な広報に努めました。



警察音楽隊による演奏

### [ 県 ]

#### 1 県内一斉キャンペーンの実施など、違法薬物の乱用防止を周知する啓発活動の推進

夏休み前の同一日に県内6か所の青少年が集まるショッピングセンター等で、福井県薬物乱用防止指導員等による県内一斉キャンペーンを実施し、違法薬物の乱用を周知しました。



県内一斉キャンペーン

#### 2 薬物乱用防止指導員による地域における啓発指導の推進

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動期間(6月20日～7月19日)および麻薬、覚せい剤乱用防止運動期間(10月1日～11月30日)に薬物乱用防止指導員による薬物乱用防止を呼び掛ける啓発活動を実施しました。



「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

## 2 犯罪情勢に即した「見える・見せる活動」プロジェクトの推進

### [ 警 察 ]

#### 1 犯罪手口別の多発地域・時間帯などの的を絞った制服警察官やパトカーによるパトロールと職務質問の強化

犯罪の多発地域・時間帯に応じた効果的なパトロールを行うとともに、職務質問技能指導官等が交番・駐在所で勤務する制服警察官に対する研修を実施して、職務質問技能の向上に努めるなど、職務質問の強化に取り組みました。

##### 【主な検挙事例】

- ・ ポーチ内に覚醒剤を隠匿した覚せい剤取締法違反(所持)事件  
(H28.5 自動車警ら隊)



職務質問技能教養

#### 2 光(赤色灯)と音(メロディ)のパトロールによる犯罪抑止と地域住民の安心感の醸成

犯罪発生が予想される地域・時間帯において、光(赤色灯)と音(メロディ)のパトロールによる犯罪抑止活動を行うとともに、地域住民に対する安心感の付与に努めました。



パトロール活動

### 3 制服警察官の交番前での立番や主要交差点における駐留警戒の強化

通勤や子どもの登下校時間帯に重点を置き、交番前における立番を行うとともに、警らを行う際は、主要交差点や幹線道路に面した公共施設等の適切な場所において駐留警戒を実施するなど、犯罪や事故の未然防止に努めました。



立番

### 4 制服警察官による巡回連絡を通じた地域住民の意見・要望の把握と防犯広報の強化

巡回連絡は、地域住民の安全で平穏な生活を確保するために、必要な情報の提供と意見・要望を聴取する活動です。

平成28年は、県下全世帯の約70パーセントに当たる約19万5千世帯を訪問し、特に特殊詐欺の手口や交通死亡事故の発生実態など、被害の未然防止に向けた情報提供を行いました。

### 5 隣接する交番・駐在所のブロック運用や交番相談員の効果的運用による制服警察官の姿を見せる活動の推進

管内の治安情勢に応じて、交番不在時の相互補完や夜間の共同警ら等、隣接する交番・駐在所においてブロック運用を行っています。

また、県下40交番に交番相談員40人、臨時交番相談員31人を配置し、交番相談員等の時差勤務や配置交番の変更など、弾力的な運用を行い、制服警察官の姿を見せる活動を推進しました。



交番相談員

## 3 非行少年を生まない社会づくり

### [ 警 察 ]

#### 1 学校・警察連携制度、スクールサポーターの効果的運用によるいじめ問題や校内暴力に対する的確な対応

県下8警察署にスクールサポーター10人を配置し、学校訪問および校内の巡回による非行防止や生徒の安全確保に取り組みました。

また、平成25年5月から運用を開始した「福井県学校・警察連携制度」により情報を共有するとともに、「心のサポートカード」により相談の方法や窓口を周知するなど、いじめ等の悩みの早期把握と早期解決、校内暴力への的確な対応に努めました。



心のサポートカード

#### 2 立ち直り支援としての「かがやきサポート活動」等の推進

非行少年や犯罪被害少年の立ち直りを支援するため、大学生ボランティア等と連携して体験活動を通じた立ち直り支援活動（通称「かがやきサポート活動」）を推進し、お菓子づくりや動物との触れ合い、スポーツ体験等の32の体験メニューを設けて少年の特性に応じた支援を行いました。

- ・ 平成28年の「かがやきサポート活動」 28回、延べ28人

### 3 家庭・学校・地域への情報発信による少年を見守る社会気運の醸成

少年サポートセンターを中心に、少年非行の現状や犯罪被害事例等を紹介した「サポートセンターだより」を発出するなど、地域社会で少年を見守る社会気運の醸成に努めました。



サポートセンターだより

### 4 学校と連携した非行防止教室等による少年の規範意識の向上

小中高校において、少年による自転車盗や万引き等の初発型非行の防止およびインターネット利用に係る犯罪被害の防止を重点とする非行防止教室（ひまわり教室）を開催するなど、少年の規範意識の向上に取り組みました。

#### 【非行防止教室の開催】

|     | 小学校  |      | 中学校 |      | 高校  |     |
|-----|------|------|-----|------|-----|-----|
| H26 | 133校 | 271回 | 69校 | 132回 | 28校 | 44回 |
| H27 | 141校 | 265回 | 71校 | 120回 | 26校 | 44回 |
| H28 | 136校 | 292回 | 64校 | 112回 | 24校 | 39回 |



非行防止教室  
(ひまわり教室)

### 5 少年相談・街頭補導等による少年非行の防止

カウンセリングの専門的知識と経験を持つ少年警察補導員等が少年の問題行動や犯罪被害に関する相談を受けて問題解決に向けた活動を推進したほか、街頭補導を通じた非行防止に取り組みました。

また、平成28年度に少年サポートセンターを本部庁舎から葵分庁舎へ移設し、相談しやすい環境を整えるとともに、同一庁舎にある被害者支援室や被害者支援センターとの連携を強化しました。



少年相談室

## [ 県 ]

### 1 青少年が集まりやすいコンビニエンスストアやスーパー、駅構内等における夜間街頭巡回指導の実施

巡回指導員が繁華街や深夜営業施設等への巡回を実施し、青少年の帰宅指導や喫煙防止の呼び掛けを行いました。また、繁華街やショッピングセンター等において、一斉補導活動を実施し、青少年の非行防止を図りました。

#### 【平成28年度の取組】

- ・ 夜間の巡回指導実施箇所数 3, 775か所
- ・ 県下一斉街頭補導活動回数、延べ参加人数 5回、7, 024人



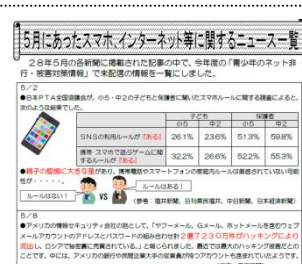
指導員による  
夜間巡回指導

### 2 保護者に対しインターネット上にある有害情報等を提供するなど、青少年を有害環境から守る対策の推進

インターネットを利用した犯罪の情報や無料通信アプリケーションソフトを利用する上での注意点等について、学校を通じ、保護者に対して随時情報提供するなど、青少年の安全・適正なインターネット利用を図りました。

#### 【平成28年度の取組】

- ・ 保護者、児童・生徒、教職員に対するインターネットの非行、被害等に関する情報提供 60件



青少年のネット非行・被害  
対策情報（メールマガジン）

### 第3 犯罪の取締りを強化する

#### 1 重要犯罪等の取締り

##### [ 警 察 ]

##### 1 初動捜査の強化による殺人・強盗等の重要犯罪の取締り

平成28年の重要犯罪の検挙件数は44件(前年比－12件)で、検挙率(※)は104.8パーセント(前年比＋4.8p)でした。

※ 検挙率:当該年の認知件数に対する検挙件数(当該年以前の認知事件の検挙を含む。)の割合

##### 【主な検挙事例】

- ・ 平成25年5月から平成28年1月までの間に福井市内において連続発生した強制わいせつ等事件 (H28.1)
- ・ 平成28年3月福井県内において発生したわいせつ目的誘拐未遂等事件 (H28.9)
- ・ 平成28年6月敦賀市内において発生した強姦致傷等事件 (H28.10)
- ・ 平成28年11月福井市内において発生した強制わいせつ事件 (H28.12)



初動捜査（機動捜査隊）

##### 2 空き巣・車上ねらい等の県民が身近に不安を感じる窃盗犯罪の取締り

平成28年の窃盗犯の検挙件数は1,269件(前年比＋23件)で、検挙率は49.5パーセント(前年比＋4.1p)でした。

##### 【主な検挙事例】

- ・ 福井市等において連続発生した一般住宅対象の広域窃盗常習者による窃盗(忍込み)事件 (H28.6)
- ・ 福井市内において発生した一般住宅対象の訪問介護士による窃盗事件 (H28.10)



誘拐未遂事件等の押収品

##### 3 捜査支援システムの整備・活用や他の都道府県警察との連携による広域犯罪の取締り

各種捜査支援システムの活用や手口分析、他の都道府県警察との情報交換等により、広域犯罪の取締りを徹底しました。

##### 【主な検挙事例】

- ・ 福井・滋賀・三重県警合同捜査にかかる素行不良外国人グループによる広域窃盗(空き巣)事件 (H28.4～H28.11)
- ・ 福井・広島県警合同捜査・岡山県警共同捜査事件にかかる窃盗常習者による広域窃盗(車上ねらい)事件 (H28.4～H28.12)
- ・ 福井・大阪府警合同捜査にかかる窃盗常習者による広域窃盗(車上ねらい)事件 (H28.5～H29.2)

## 2 暴力団等組織犯罪対策の推進

### [ 警 察 ]

#### 1 暴力団等反社会的勢力の壊滅に向けた取締りと資金の剥奪

平成28年の暴力団犯罪の検挙人員は、傷害や窃盗等の刑法犯53人、覚せい剤取締法違反等の特別法犯33人の合計86人でした。

国内最大の指定暴力団「六代目山口組」の分裂を受け、県民の安全確保に向け、平成28年3月に「六代目山口組・神戸山口組対立抗争集中取締本部」を設置し、警戒や取締りを強化しました。

##### 【主な検挙事例】

- ・ 神戸山口組系暴力団事務所に対する拳銃発砲事件 (H28.2)
- ・ 住吉会幹部らによる覚醒剤密売事件 (H29.1)



暴力団の取締り

#### 2 暴力団を公共事業や民間取引から排除するなど、社会一体となった暴力団排除活動の推進

暴力団の弱体化・壊滅に向け、暴迫センター、関係機関・団体等と連携し、暴力団の介入を阻止する取組を推進しました。

##### 【主な取組】

- ・ 福井県企業防衛対策協議会の開催 (H28.4)
- ・ 暴力追放福井県民敦賀・美浜大会の開催 (H28.10)
- ・ 北陸新幹線建設工事暴力団等排除対策協議会の設立 (H28.12)



暴力追放福井県民  
敦賀・美浜大会

#### 3 危険ドラッグ等の薬物の需要の根絶と供給の遮断に向けた取締り

平成28年の薬物犯罪の検挙人員は36人で、このうち、覚醒剤事犯の検挙人員は22人であり、全体の61.1パーセントを占めました。

##### 【主な検挙事例】

- ・ 危険ドラッグの原料を輸入した麻薬取締法違反事件 (H27.8)
- ・ 大麻密売グループによる営利目的栽培事件 (H28.5)
- ・ 覚醒剤密売人らによる営利目的所持等事件 (H29.1)



栽培アジトから  
押収した大麻草

#### 4 武器庫の摘発など、違法銃器の発見・排除に向けた取締り

違法銃器に関する情報の収集・分析、水際での取締りを強化するための税関や海上保安庁との情報交換等に取り組みました。

#### 5 来日外国人犯罪組織の取締りによる犯罪のグローバル化・犯罪インフラ対策の推進

地下銀行による不正送金、偽装結婚、不法就労等の来日外国人犯罪組織が関係する犯罪インフラ対策として、入国管理局や税関、県の関係機関と連携を図り、情報交換等に取り組みました。



関係機関との会議

### 3 サイバー犯罪対策の推進

#### [ 警 察 ]

#### 1 サイバー犯罪被害の潜在化を防止するためのサイバーパトロールの実施と的確な相談対応の推進

平成28年のサイバー関連の相談受理件数は1,349件で、前年より172件増加しました。このうち、詐欺や悪質商法に関する相談が922件で、前年より154件増加しました。

県警察では、サイバー犯罪に関する知識と技能を有した「サイバー犯罪アドバイザー(42人)」を警察署に配置するなど、サイバー犯罪に関する相談への的確な対応に努めました。



相談への対応

#### 2 インターネット利用者や企業等の対象に応じた啓発活動による民間の自主的な被害防止対策の促進

「福井県インターネットプロバイダ防犯連絡協議会」や「福井県インターネットカフェ連絡協議会」と連携して事業者による自主的な被害防止対策を促進しました。

また、中高生が被害者となる児童ポルノ事犯等のサイバー犯罪が発生している現状を踏まえ、非行防止教室(ひまわり教室)において、インターネットの危険性の周知に取り組みました。



プロバイダとの連携

#### 3 サイバー犯罪に的確に対応するための体制強化と対処能力の向上

警部補以下の全警察官を対象とした「サイバー犯罪捜査検定」を実施するとともに、生活安全企画課のサイバー犯罪対策室員や各警察署に配置しているサイバー犯罪アドバイザーにサイバーセキュリティに関する専門的な研修を受講させるなど、対処能力の向上に取り組みました。



技能指導官による講演

#### 4 不正アクセス、コンピュータ・ウイルス等を利用する悪質事犯の取締り

平成28年のサイバー犯罪の検挙件数は40件で、前年より1件減少しました。

##### 【主な検挙事例】

- ・ コンサートチケットの売却を装って現金をだまし取った詐欺事件  
(H27.6 越前)
- ・ SNSを使用し、危害を加えるメッセージを送信した脅迫事件  
(H28.8 福井南)



データの解析

#### 5 インターネット上における有害情報の実態解明とこれに起因する犯罪の取締り

サイバーパトロールやインターネット・ホットラインセンターからの通報を活用し、プロバイダ等の事業者と連携した違法・有害情報の実態解明とこれに起因するサイバー犯罪の取締りを推進しました。

## 4 生活経済事犯等の取締り

### [ 警 察 ]

#### 1 ヤミ金融等の悪質商法、不法投棄事案等の環境事犯の取締り

無登録で貸金業を営むなどのヤミ金融事犯の取締りを推進したほか、廃棄物の不法投棄事案の取締りや関係機関との合同パトロールに取り組みました。

##### 【主な検挙事例】

- ・ 無許可で投資ファンドへの出資金を集めた金融商品取引法違反（無登録営業）事件（H27.12 福井県警察、愛媛県警察等 合同捜査）
- ・ 無許可で医薬品を製造・販売した医薬品、医療機器等法違反事件（H28.9 福井南、生活環境課 合同捜査）



不法投棄された廃棄物

#### 2 悪質商法等に悪用される携帯電話や預貯金口座等の犯行ツール無力化対策の推進

金融機関に対する口座凍結情報の提供や電話事業者に対する携帯電話の契約者確認を行うなど、犯罪を助長する犯行ツールの無力化対策を推進しました。

##### 【犯行ツール無力化対策の推進状況】（単位：件）

|           | H26 | H27 | H28 |
|-----------|-----|-----|-----|
| 口座凍結情報提供  | 412 | 293 | 227 |
| 携帯電話契約者確認 | 86  | 47  | 37  |

#### 3 悪質な風俗事犯の取締り

健全で魅力あふれるまちづくりを推進するため、繁華街の実態把握に努めるとともに、悪質な風俗関係事犯の取締りを強化しました。

##### 【主な検挙事例】

- ・ 福井市内における売春防止法違反事件（H27.10 福井、生活環境課 合同捜査）
- ・ 福井市片町地区における風営適正化法違反（客引き等）事件（H28.5 福井、生活環境課 合同捜査）



違法店舗

## 第4 交通事故から県民を守る

### 1 高齢者を守る取組の推進

#### 【高齢交通弱者を守る取組】

##### [ 警 察 ]

#### 1 危険歩行者等に対する現場での指導や反射材タスキの貸与、高齢者宅訪問等による啓発活動の強化

夜間に暗い服装で車道を歩いているなどの交通事故に遭いそうな歩行者および自転車利用者に対する保護・誘導や反射材タスキを貸与するなどの街頭啓発活動のほか、高齢者宅訪問による安全指導活動に取り組みました。

##### 【平成28年の取組】

- ・ 現場指導 1, 035人、反射材タスキの貸与 1, 243回



反射材の直接貼付活動

#### 2 反射材普及協力店等との連携や反射材シールの直接貼付活動等による反射材の事故防止効果の周知と普及促進

薄暮時や夜間における交通事故防止に効果が高い反射材用品の普及を図るため、関係機関・団体や反射材普及協力店（10社57店舗）と連携して広報啓発活動を行ったほか、参加・体験・実践型の交通安全教育により、視認効果や使用方法について理解を深めてもらう活動に取り組みました。



反射材の広報啓発活動

#### 3 危険歩行者等発見時の緊急通報を促す「交通安全“おたすけコール”運動」の促進

県警察ホームページや交通安全教室の機会を利用し、夜間に交通上危険な歩行者を発見した場合等に110番や専用電話（0776-23-4949）で通報を依頼する「交通安全“おたすけコール”運動」の周知に取り組みました。

#### 4 歩行環境シミュレーター等の交通安全体験機材を活用した参加・体験・実践型の交通安全教室の推進

加齢に伴う身体機能の低下を理解していただき、身体機能の変化に応じた行動を心掛けてもらうため、座学講習と合わせてゲーム方式による反射能力テストや歩行環境シミュレーター、自転車シミュレーター等を用いた体験・実践型の交通安全教育に取り組みました。



自転車シミュレーターを活用した交通安全教育

#### 5 県警察ホームページの「安全・安心マップ」や出前型教室による交通事故実態の周知

高齢者の交通事故実態を知っていただき、交通安全に対する意識を高めていただくため、県警察ホームページの「安全・安心マップ」や高齢者施設、コミュニティバス車内等での出前型教室において、交通事故実態を周知しました。



出前型教室

[ 県 ]

1 反射材の着用促進を目的としたキャンペーンや高齢者への直接貼付活動の推進

高齢者交通安全推進月間(9月)中、県内の高齢者が集まる施設や病院等において、履物やカバン等に反射シールを直接貼り付ける活動を実施し、反射材の着用促進を図りました。

【平成28年度の取組】

- ・ 反射材貼付者数 4,407人



ピカピカキャラバン隊  
による反射材貼付活動

【高齢運転者を守る取組】

[ 警察 ]

1 交通ボランティアと連携し、「安全運転自己診断シート」を用いた高齢者宅訪問による安全運転指導の推進

地域交通安全活動推進委員、高齢者交通安全リーダー等の交通ボランティアと連携して「安全運転自己診断シート」を活用した高齢運転者宅への戸別訪問や街頭指導を行い、安全運転意識の高揚を図りました。

2 事故を捉えた個別の運転適性診断と安全運転指導の推進

過去に複数回の交通事故歴を有する高齢運転者を対象とし、各警察署に整備している可搬型の運転操作検査器を活用した運転適性診断を行い、診断結果に応じた個別の安全運転指導を行いました。

【平成28年の取組】

- ・ 可搬型運転操作検査器による運転適性診断 34回、1,662人



可搬型運転操作検査器を  
活用した運転適性診断

3 自動車教習所と連携し、運転に不安のある運転者に対する実車講習の推進

自動車教習所と連携し、法律で義務付けられる法定講習とは別に、「シルバー・セーフティドライビング講習」として70歳以上の運転者や運転に不安のある方を対象とした、座学による交通安全教育と実車を使用した運転指導を行い、安全運転意識の高揚を図りました。

【平成28年の取組】

- ・ シルバー・セーフティドライビング講習による安全運転指導 590人

4 実際のヒヤリ・ハット映像を活用した加齢に伴う身体機能低下の自覚を促すための交通安全教育の推進

平成27年7月から、加齢に伴う身体機能の低下を理解していただくため、運転に不安のある70歳以上の方の車両にドライブレコーダーを設置し、記録された映像を基に、警察署の交通課員による個別の安全運転指導を行いました。

【平成28年の取組】

- ・ ドライブレコーダーを活用した安全運転指導 291人



ドライブレコーダーの映像  
を活用した安全運転指導

[ 県 ]

### 1 市町や医療機関、交通安全実践事業所等と連携した高齢者の運転免許自主返納の促進と支援制度の拡大

交通事故の危険性等について各種会議等で周知したほか、運転に不安を感じている高齢者には運転免許の自主返納と高齢者免許返納者に対する各種支援内容を広報しました。

- ・ 高齢者の免許返納者数 1,898人（平成28年度）  
（うち、75歳以上の高齢者の免許返納者数 1,344人）



運転免許の自主返納を促すテレビCM

### 2 加齢による身体機能低下を自己診断する出前型交通安全教室の実施

高齢運転者向けの安全運転教室を実施し、身体機能や認知力等の運転に必要な能力に関する自己診断を行うことにより、安全運転意識の高揚を図りました。

【平成28年度の取組】

- ・ 高齢者安全運転教室参加者 5,306人



高齢者向け交通安全教室

## 2 悪質危険運転者対策の推進

[ 警察 ]

### 1 交通事故に直結する悪質・危険性の高い飲酒運転、無免許運転、高速度運転等の取締り

交通事故に直結する悪質・危険性の高い違反の取締りを推進しました。

【取締り状況】

(単位：件)

|                 | H26    | H27   | H28   |
|-----------------|--------|-------|-------|
| 飲酒運転            | 255    | 201   | 188   |
| 無免許運転           | 145    | 101   | 115   |
| 速度違反（20 km/h以上） | 10,611 | 9,635 | 8,011 |



飲酒運転を重点とした交通検問

### 2 危険ドラッグを使用した運転の悪質・危険性の周知と取締り

交通安全教育や免許更新の機会を利用し、危険ドラッグ等の薬物を使用した運転の悪質性・危険性の周知に取り組みました。

なお、平成28年中、県内では危険ドラッグを使用した運転による交通事故の発生はありませんでした。

### 3 車両や酒類の提供者、同乗者等の飲酒運転周辺者の取締り

飲酒運転を助長する違反の根絶に向けた取締りを推進しました。

【取締り状況】

(単位：件)

|          | H26 | H27 | H28 |
|----------|-----|-----|-----|
| 要求・依頼同乗罪 | 10  | 12  | 7   |
| 車両提供罪    | 0   | 1   | 0   |
| 酒類提供罪    | 0   | 1   | 0   |

#### 4 飲酒運転根絶気運を高めるための広報啓発活動の推進

家庭や地域において飲酒運転防止を呼び掛けるリュウピー・リュウミー交通保安官の任命を行ったほか、県警察のホームページにおいて、飲酒運転者の実態を取りまとめた「飲酒運転者マップ」や飲酒運転による運転免許取消処分者数を公表するなど、飲酒運転を許さない社会環境づくりに取り組みました。

##### 【飲酒運転による交通事故の発生状況】

(単位:件)

|             | H26 | H27 | H28 |
|-------------|-----|-----|-----|
| 飲酒運転による交通事故 | 29  | 26  | 28  |
| うち死亡事故      | 4   | 2   | 7   |



飲酒運転根絶大会

#### 5 暴走族による違法行為の取締り

平成28年は、福井フェニックスまつりの開催期間中に信号無視等の危険な運転を繰り返した、坂井市内に拠点を置く暴走族グループの少年6人を逮捕してグループを解体するなど、各種法令を適用した取締りを推進しました。



押収したオートバイ

### 3 通学路・生活道路対策の推進

#### [ 警 察 ]

##### 1 生活道路における最高速度 30 km/h の区域規制等を行う「ゾーン30」の整備拡充

生活道路における歩行者や自転車利用者の安全な通行を確保するため、道路管理者と連携して「ゾーン30(※)」の整備を推進し、去年は、新たに7か所(大野市、あわら市、鯖江市[2か所]、美浜町、若狭町、小浜市)で整備を進め、県下23地域で運用しています。

※ 地域を定めて、その範囲内で最高速度30km/hの速度規制や路側帯の拡幅などの安全対策を組み合わせ、速度抑制や抜け道として通行する行為の抑制・排除を図る対策



「ゾーン30」の整備

##### 2 学校・道路管理者等と連携した通学路における交通安全対策の推進

平成28年度は、信号機6基を新設したほか、信号灯器のLED化や横断歩道の新設、交通規制の見直し等、通学路の安全対策に取り組みました。

また、各市町で策定された「通学路交通安全プログラム」に基づく取組に参画し、学校関係者や道路管理者等と連携して通学路における危険箇所の合同点検や街頭啓発活動を推進しました。

##### 3 「通学路一斉交通取締り」における車両等の交通指導取締りの強化

通学路の安全を確保するため、通学路における速度違反、通行禁止等の取締りを行い、平成28年は12,090件を検挙しました。取締りの強化方策として毎月2回、「通学路一斉取締り」を設定し、県下一斉で通学路における交通指導取締りを実施しました。

## [ 県 ]

### 1 県、県警察、市町、道路管理者からなる「交通安全推進連絡協議会（仮称）」を設置。ビッグデータに基づくソフト・ハードを組み合わせた交通事故抑止対策の推進

県、県警察および市町の交通安全担当者・道路管理者・学校関係者が一堂に会する「交通安全推進連絡協議会」により、車両の走行情報のビッグデータを活用した交通安全対策を推進し、急ブレーキ多発地点における道路環境の改善や安全施設の設置、街頭啓発活動の強化等を実施しました。 【平成28年の取組】

- ・ ビッグデータを活用した事故防止対策の実施 60小学校区

### 2 歩道整備や歩道拡幅など、通学路の安全な歩行空間の整備

学校、道路管理者、警察署等の関係者が連携して通学路の危険箇所の改善を行いました。 【平成28年の取組】

- ・ 通学路の歩道整備箇所（路肩拡幅含む。）

県管理道路 15か所 3.2km

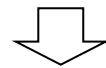
市町管理道路 3か所 1.1km

### 3 自転車の利用が多い通学路における「自転車安心通行帯」の整備促進

5市（福井市、坂井市、大野市、鯖江市、敦賀市）の教育委員会や警察署との協議結果に基づき、平成28年は、福井市のさくら通りなど7路線に自転車安心通行帯を整備しました。



福井県交通安全推進連絡協議会の設立



自転車安心通行帯の整備

## 4 交通マナーアップ対策の推進

## [ 警 察 ]

### 1 規制速度を守る意識を高めるための速度違反取締り等の推進と「速度注意報」、「速度警報」の発令

悪質な速度違反車両が増加した場合、「速度警報」または「速度注意報」を発令し、交通情報板への掲示やラジオ広報により、県民の規制速度を守る意識の高揚を図りました。

- ・ 平成28年中の速度警報発令 0回、速度注意報発令 2回

### 2 シートベルトの全席着用とチャイルドシートの正しい使用を定着させる広報啓発活動等の推進

関係機関・団体と連携し、シートベルト着用効果体験車を用いた参加・体験・実践型の交通安全教育を行ったほか、幼稚園や保育所において保護者を対象としたチャイルドシート取付講習会を開催するなど、正しい着用・使用の徹底に向けた広報啓発活動に取り組みました。



チャイルドシート取付講習会

### 3 「交通ルール遵守・マナーアップの日」における交通安全啓発活動の推進

毎月1日を“交通ルール遵守・マナーアップの日”として設定し、通学路や薄暮時間帯において、速度違反等の交通指導取締りや交通関係団体と連携した街頭活動等、交通ルール遵守に向けた取組を推進しました。



街頭啓発活動

#### [ 県 ]

#### 1 「子どもを見かけたらスローダウン」県民運動の展開

四季の交通安全県民運動の取組項目に「子どもを見かけたらスローダウン」県民運動を明記して広く呼び掛けるとともに、ステッカー配布等を通じて県民運動への協力を呼び掛けました。



子どもを見かけたらスローダウン」ステッカー

#### 2 「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会」を見据えた県民総ぐるみの交通ルール遵守・マナー向上運動の推進

交通安全街頭啓発活動の実施や交通安全県民大会など交通安全啓発イベント来場者に対し交通ルール遵守・マナー向上に関するチラシ等を配布したほか、家族と一緒に交通安全グッズを作成することにより交通安全意識の高揚とマナー向上を図りました。



交通安全県民大会

## 5 脱クルマ依存社会の推進

#### [ 県 ]

#### 1 カー・セーブデーやパークアンドライドによる通勤時の車の利用を控える運動の推進

ふくい交通フェスタの開催やカー・セーブ運動のPRブースの出展（4地区）、市町広報紙等による広報、バスの乗り方教室の開催等を行い、カー・セーブデーへの参加やパークアンドライドの活用を周知しました。



カーセーブ運動の啓発活動  
（おもしろ自転車試乗会）

#### 2 自転車イベント情報の発信や「福井バイコロジスト宣言」等による自転車利用の推進

短距離移動での自動車の利用を控える「福井バイコロジスト宣言」の募集に加え、早朝サイクリング（モーニングライド）や交流会の開催、自転車情報のメール配信やFacebookによる情報発信を行い、自転車の利用を促進しました。平成28年9月には「自転車先進国」オランダのアムステルダム市から現地の自転車3台を譲り受け、自転車利用の機運醸成に活用しています。



オランダ自転車贈呈式

## 第5 テロ、大規模災害等から県民を守る

### 1 テロ未然防止対策の推進

#### [ 警 察 ]

#### 1 原子力関連施設、公共交通機関等に対する周辺の海域・空域を視野に入れた警戒警備などテロの未然防止対策の強化

原子力関連施設警戒隊が24時間体制で警戒警備に当たっているほか、原子力事業者に対する防護措置の強化に向けた働き掛けや原子力発電所の敷地を利用した自衛隊との共同実動訓練の実施など、テロへの対処能力の強化に取り組みました。

また、小型無人機等を使用したテロ等を未然に防止するため、原子力事業者との合同訓練を実施するなど、一層の連携を図りました。



原子力関連施設の警戒警備

#### 2 拉致容疑事案等に対する捜査・調査の推進と沿岸警備協力会と連携した沿岸線の警戒

本県において発生した北朝鮮によるアベック拉致容疑事案や拉致の可能性を排除できない行方不明者の捜査・調査を推進し、平成28年は、平成9年に行方不明になった男性一人を国内で発見しました。

また、「北朝鮮人権侵害問題啓発週間(12月)」に合わせて「美浜事件(※)」の関係資料を一般公開するなど、拉致問題解決に向けた啓発活動を行ったほか、県警察のホームページに拉致の可能性を排除できない行方不明者のうち、御家族の同意が得られた方の氏名や事案概要を掲載して広く情報の提供を呼び掛けました。

※ 美浜事件:平成2年10月、美浜町の海岸に北朝鮮の工作船が漂着した事件



「美浜事件」資料の展示

#### 3 爆発物の原料となり得る化学物質の販売事業者、ホテル、旅館等の関係事業者と連携した対策の推進

爆発物の原料となり得る化学物質を販売するホームセンターや薬局等を個別訪問し、保管管理の強化を依頼するとともに、不審な購入者の来店を想定したロールプレイング型の訓練を実施するなど、事業者の危機意識の高揚を図りました。

このほか、ホテル・旅館業者等に対して宿泊客の本人確認の徹底を依頼するなど、連携の強化に取り組みました。



ロールプレイング型訓練

#### 4 サイバー攻撃による被害の未然防止と実態解明の推進

県警察の「サイバー攻撃対策プロジェクト」が主体となり、サイバー攻撃の予兆事案の早期把握、被害の未然防止および迅速的確な捜査を推進しました。

また、県警察と重要インフラ事業者で構成する「福井県サイバーテロ対策協議会」を開催し、サイバーテロの脅威や情報セキュリティに関する情報共有、事案発生時の通報依頼を行ったほか、重要インフラ事業者等と具体的な事案の発生を想定した共同対処訓練を実施するなど、対処能力の向上を図りました。



福井県サイバーテロ対策協議会

## 2 大規模災害対策の推進

### [ 警 察 ]

#### 1 東日本大震災等の自然災害及び原子力災害の反省・教訓を踏まえた災害対策の見直し

災害に係る危機管理体制の再点検および再構築を実施し、東日本大震災以前の災害対策を抜本的に見直したほか、災害発生時の警察活動が迅速かつ円滑に行われるよう、大規模災害警備計画の改正や原子力災害警備マニュアルの制定に取り組みました。

また、災害警備本部要員等の非常招集訓練や図上と実動を組み合わせた県警察初の災害警備総合訓練を実施するなど、災害対処能力の向上を図りました。



災害警備総合訓練

#### 2 消防、自衛隊等の関係機関との合同訓練による部隊の対処能力の向上

消防や自衛隊等の関係機関との訓練を通じ、部隊の対処能力の向上を図っており、平成28年は、消防の高度救助隊と合同で、災害現場を想定した救出救助訓練を実施したほか、重大テロ等が発生した場合に備え、北陸三県警察と陸上自衛隊との共同実動訓練を実施するなど、防災関係機関との連携の強化に取り組みました。



消防との救出救助訓練

##### 【関係機関との合同訓練】

- |                        |          |
|------------------------|----------|
| ・ 消防総合訓練               | (H28.8)  |
| ・ 福井県原子力防災総合訓練         | (H28.8)  |
| ・ 福井県総合防災訓練            | (H28.10) |
| ・ 県下一斉津波対応訓練           | (H28.11) |
| ・ 北陸三県警察と陸上自衛隊との共同実動訓練 | (H28.11) |
| ・ 中部管区広域緊急合同訓練         | (H29.2)  |
| ・ 福井県警察災害警備合同訓練        | (H29.2)  |



自衛隊との共同実動訓練

#### 3 大規模災害に備えた装備資機材の充実

東日本大震災において、民間給油所での警察車両の給油が困難となった教訓を踏まえ、平成27年度に機動隊の敷地内に自家用給油取扱所を設置し、災害発生時の初動活動に必要な車両用燃料を確保したほか、原子力災害発生時に住民が広域避難する際、交通整理にあたる警察官の個人携行装備品を整備しました。

また、被災地における迅速的確な救出救助活動を展開するため、現場指揮所の設営資機材や部隊の救出救助技術の向上に資する訓練ユニットを整備するなど、大規模災害の発生に備えた装備資機材の充実を図りました。



ユニットを活用した訓練

## 第6 治安基盤を強化する

### 1 初動警察活動、現場執行力の強化

#### [ 警 察 ]

#### 1 通信指令機能の強化と通信指令を担う人材の育成

初動警察対応訓練や県警察通信指令・無線通話技能競技会を実施するなど、通信指令機能の強化に取り組みました。また、平成28年9月に行われた「全国通信指令・無線通話技能競技会」では、第2グループ(警察官定員約1万人以下の39チーム)において、上位10チームが参加する本選進出を果たしました。

#### 【110番通報受理件数】

(単位：件)

|            | H26    | H27    | H28    |
|------------|--------|--------|--------|
| 有効         | 36,135 | 34,462 | 34,299 |
| 非有効(いたずら等) | 8,291  | 7,107  | 6,386  |
| 総受理件数      | 44,426 | 41,569 | 40,685 |



通信指令・無線通話技能  
競技会

#### 2 現場を想定した対応訓練や伝承教養等の実施による若手警察官の早期育成

実際の現場で発生する可能性の高い事案を想定した実戦的訓練や犯罪鑑識・取調べ等に専門的な知識・技能を有する技能指導官による伝承教養を行うとともに、各所属の訓練実施者に対して実地指導や指導ポイント資料を発出するなど、若手警察官の早期育成に取り組みました。



実戦的な現場対応訓練

#### 3 県民の多様なニーズに対応するための女性の視点を生かした施策の推進

県警察の女性警察官は129人(H28.4 現在)で、少年女性安全課「子供女性安全対策室」や捜査第一課「女性選抜捜査班」など、幅広い分野で活躍しています。近年、増加傾向にあるストーカー・DV事案や女性を対象とした卑劣な犯罪に対応するため、女性相談担当者の対処能力向上や術科訓練を通じた現場執行力の強化に取り組みました。



女性警察官の術科訓練

#### 4 治安情勢の変化に的確に対応した組織体制の強化

#### 5 優秀な人材の採用・配置

平成28年度の全国における地方警察官の増員により、県警察では人身安全関連事案や特殊詐欺対策の強化として8人の増員が認められ、平成28年3月の組織改編では、少年女性安全課の新設や特殊詐欺対策係の増強等、組織体制を強化しました。

また、優秀な人材の採用に向け、警察学校におけるオープンキャンパスの開催や北陸3県警察「警察官募集広報活動に係る協定」に基づき、県外者を対象とした都市圏での募集活動に取り組みました。



就職説明会  
(オープンキャンパス)

## 2 捜査環境の変化への的確な対応

### [ 警 察 ]

#### 1 取調べの録音・録画への的確な対応

裁判員裁判における自白の任意性の効果的・効率的な立証に資する方策について検討するため、裁判員裁判対象事件および知的障害を有する被疑者に係る事件について、取調べの録音・録画の試行を推進しました。



取調べの録音・録画  
(イメージ)

#### 2 DNA型鑑定、防犯カメラ画像や電磁的記録の解析など、客観証拠を重視した捜査の推進

公判において、裁判員の的確な心証形成に資する客観証拠が重視される中、専門的知識・技術を有する職員がDNA型鑑定や防犯カメラ画像の収集・分析を行い、捜査に活用しました。

このほか、携帯電話やインターネットの犯罪利用により、犯人の追跡が困難となる中、電子機器の的確な押収、解析による証拠化等、犯罪と犯人を結ぶ客観証拠の収集に取り組みました。

#### 3 危険ドラッグを始めとする薬物の鑑定体制の充実

薬物の鑑定を行う科学捜査研究所では、厚生労働省等の関係機関と連携し、成分が多岐にわたる危険ドラッグを始め、大麻・覚醒剤等の違法薬物鑑定体制の充実に取り組みました。



薬物鑑定

#### 4 犯罪死の見逃し防止に向けた取組の充実

犯罪死の見逃しを防止するため、検視官の臨場率の向上、検視支援システムの活用を図るとともに、警察医会及び警察歯科医会の協力を得て、薬毒物検査やCT等の死亡時画像診断を実施するなど、適正な死体取扱業務を推進しました。

## 3 警察安全相談への対応の充実

### [ 警 察 ]

#### 1 警察安全相談窓口の周知徹底と相談受理後の継続支援の充実

警察本部および7警察署に警察安全相談員10人を配置して適切な相談受理と継続支援を行ったほか、各種防犯広報やラジオ広報等により相談窓口や専用電話番号「#9110」の周知と利用促進を図りました。

|                | H26    | H27    | H28    |
|----------------|--------|--------|--------|
| 警察安全相談の受理件数（件） | 14,522 | 14,426 | 15,122 |



ラジオ放送による広報

## 4 被害者支援の充実

### [ 警 察 ]

#### 1 専門的知識を有する女性警察職員の育成・配置による犯罪被害者の心情に配慮した対応の推進

事件発生直後から犯罪被害者およびその遺族・家族に寄り添い、支援を行う警察職員を対象に研修会を実施し、犯罪被害者の心情に配慮した支援を行いました。



女性警察職員の研修会

#### 2 一時避難や犯罪被害者等給付金の支給など、被害者の特性に応じた対応の推進

犯罪被害者の経済的負担を軽減するための制度について適切な情報提供に努めたほか、ストーカー・DV事案の被害者等が一時的に避難するために必要な経費を公費で負担するなど、被害者の特性に応じた支援を行いました。



命の大切さを学ぶ教室

#### 3 命の大切さを学ぶ教室の開催など、犯罪被害の実態や被害者支援の必要性等に関する啓発活動の推進

学生を対象とした「命の大切さを学ぶ教室」、「性犯罪被害者支援研修会」を開催し、犯罪被害者遺族の講演を通じた被害者や遺族の心情、命の大切さを伝えるなど、「社会全体で被害者を支え、被害者も加害者も出さない街づくり」に向けた気運の醸成に取り組みました。



性犯罪被害者支援研修会

|     | 命の大切さを学ぶ教室 |           | 性犯罪被害者支援研修会 |           |
|-----|------------|-----------|-------------|-----------|
| H26 | 17 校       | 約 3,500 人 | 4校          | 約 1,900 人 |
| H27 | 17 校       | 約 4,340 人 | 4校          | 約 790 人   |
| H28 | 11 校       | 約 2,360 人 | 3校          | 約 1,150 人 |

### [ 県 ]

#### 1 福井被害者支援センター等の相談窓口を更に周知し、被害者が安心して相談できる環境づくりの推進

新聞広告への福井被害者支援センターに関する記事の定期的掲載や女性が犯罪被害に遭った時のための相談窓口リーフレットの作成により、被害者が安心して相談できる環境をつくりました。



女性のための「もしもの時」お役立ち電話帳

#### 2 専門的な研修会の開催など、被害者を支援する人材育成の推進

県・市町の相談機関職員、医療関係職員、教育関係職員、民間の相談員等を対象として犯罪被害者等支援に関する総合的知識を習得し、適切な支援を行う人材の育成を目的とした専門的な研修会を開催しました。

##### 【平成28年の取組】

- ・ 犯罪被害者等支援相談員研修会 1回
- ・ 性暴力被害者支援研修会 1回



性暴力被害者支援研修会

## 5 警察施設・装備の充実整備

### [ 警 察 ]

#### 1 地域の治安の要となる警察署や交番・駐在所等の警察施設の整備

#### 2 警察活動を支える装備の充実整備

県警察では、地域住民に密着した警察活動を行うため、その基盤となる警察署や交番・駐在所等の警察施設の計画的な整備および耐震補強を行っています。

平成28年度は、敦賀警察署栗野交番と福井南警察署福町交番(現:運動公園前交番)の建替えを行いました。また、平成30年度中の完成を目指し、小浜警察署の整備を推進しています。



敦賀警察署 栗野交番



小浜警察署（完成予想図）

平成29年4月26日

福 井 県 知 事

西 川 一 誠

福井県公安委員会委員長

野 口 正 人

福 井 県 警 察 本 部 長

猪 原 誠 司